

# 実施報告書

現地集合型研修



## 1. 目 的

地域国際化協会における広域連携は、基本的に各ブロック内を想定しており、東日本大震災のような大規模広域災害の発生により、ひとつのブロック内で複数個所が同時に被災した場合、他のブロックからの応援が円滑に進むようブロックを超えた応援想定と顔の見える関係づくりを進める。

## 2. 業務内容

全国の地域国際化協会職員を対象とした広域での災害時外国人支援に関する研修の実施に係る以下の業務

- (1) 日程・会場決定
- (2) 研修企画・事前打ち合わせ
- (3) 会場手配
- (4) 申込依頼・参加者とりまとめ、参加者名簿の作成
- (5) 研修・訓練の資料準備
- (6) 研修・訓練の物品等準備
- (7) 会場設営
- (8) 研修・訓練の実施
- (9) 報告書作成

## 3. 実施日時・会場

日時：令和5年9月15日（金）13時～16時半

会場：東京体育館 第一会議室（東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目17-1）

## 4. 対象・定員

地域国際化協会職員・60名程度

## 5. 研修テーマ

- ①マイ・タイムライン講習会      ②発災前の備えに関する取組共有等

## 6. 実施内容・スケジュール

挨拶 （一財）自治体国際化協会 理事 小池 潔 氏

講 義 1 「水害から命を守る マイ・タイムライン」

（一財）河川情報センター 向井 正大 氏

講 義 2 「災害への備えに関する事例紹介」

（公財）仙台観光国際協会 五十嵐 丈士 氏

グループディスカッション「災害への備えの充実に向けて」

進行 （特活）多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦

## 《プログラム》

時 間	内 容
12:30～13:00	受付
13:00～13:15	開会 主催者挨拶、趣旨説明等
13:15～14:15	【講義1】 水害から命を守る マイ・タイムライン
14:15～14:30	<休憩>
14:30～15:20	【講義2】 災害への備えに関する事例紹介
15:20～15:55	【グループディスカッション】 災害への備えの充実に向けて ・諸説明（5分） ・グループディスカッション（30分）
15:55～16:10	<休憩>
15:00～16:30	【グループディスカッション】 続き ・全体共有（20分） ・講師コメント、まとめ（10分）
16:30	閉会

**7. 実施結果**

近年、普及が進められている「マイ・タイムライン」について、オンライン研修で基礎的な理解をしたうえで、本研修では実際に各自が「マイ・タイムライン」を作成した。それにより、具体的なポイント等の理解が深まり、今後、各地で同様の講座が開かれることが期待できる。

また、東日本大震災を経験した地域で、その後に展開された防災事業について学んだことで、既存の取組の見直しや、今後のさらなる展開に向けたヒントが得られた。

グループディスカッションでは、各地で作成された防災啓発ツール等について、そのポイントや地域特性を詳しく知ることができ、今後の事業に活かせる点が見つかったようだった。

昨年に続き、コロナ禍で地域を超えて関係者が一堂に会する対面研修となったことから、地域国際化協会職員同士の関係づくりの場となり、改めて、顔の見えるネットワークを構築していくことの重要性も指摘された。

## 8. 参加者名簿

都道府県	団体名	参加者数
青森県	(公社) 青森県観光国際交流機構	1名
福島県	(公財) 福島県国際交流協会	1名
新潟県	(公財) 新潟県国際交流協会	1名
茨城県	(公財) 茨城県国際交流協会	1名
埼玉県	(公財) 埼玉県国際交流協会	1名
	(公社) さいたま観光国際協会	1名
東京都	(公財) 東京都つながり創生財団	1名
石川県	(公財) 石川県国際交流協会	1名
岐阜県	(公財) 岐阜県国際交流センター	1名
愛知県	(公財) 名古屋国際センター	1名
大阪府	(公財) 大阪国際交流センター	1名
佐賀県	(公財) 佐賀県国際交流協会	1名
福岡県	(公財) 北九州国際交流協会	1名
鹿児島県	(公財) 鹿児島県国際交流協会	1名





## 9. 参加者の声

- 今回の防災研修ではより具体的な支援策が見えてきた充実した研修でした。久しぶりの対面研修ではオンラインでは得られない深みと楽しさがあったとても良かったです。
- 講師がおっしゃったように、顔を合わせる機会は貴重だと思う。
- オンラインだけでは、講師の方やグループのみなさんとそこまで関係は深まらない。
- 横のつながり、ご縁を大事にしたいです。
- 仙台観光国際協会による事例紹介がとても参考になった。
- 水害啓発についても事業企画のヒントをいただいた。
- マイ・タイムラインの作成について、もう少し時間をとって欲しかった。
- マイ・タイムライン講習では、他者を守る上でまず必要な自分自身を守る術を学び、それを受けて、仙台市観光国際協会の五十嵐様のお話でどのように伝えていったらよいか次のアクションに繋がるようなお話をいただけました。
- オンライン研修は何度か出席させていただいているものの、今回がはじめて他県協会の方と対面で直接お話できる良い機会でした。
- 在住外国人や災害の種類などの状況は違っても、当協会の課題と他県協会の方の取組内容を照らしながら、ヒントをいただいた研修でした。研修の企画運営をしていただきありがとうございました。
- マイ・タイムラインを、実際に手を動かして作成することができたのがよかった。
- 集合型研修で、他協会の方と意見交換できたのがよかった。
- 対面式での開催は、オンラインとは違った生の声が聞くことができるのでよかった。
- 久しぶりに対面の研修に参加して、全国の協会の方とお話することができて刺激になりました。
- グループワークを県レベルと市レベルに分けていただいたことで、協会の役割にズレがなく、話し合いがしやすかった。ご配慮ありがとうございました。
- オンライン研修会も含め、毎回新たな学びがあって、とても参考になっています。

## 10. 記録写真

### <開会挨拶>



### <講義2：五十嵐氏>



### <グループディスカッション>



### <講義1：向井氏>



### <進行：土井>



### <質疑応答>



以上